

2012年3月期第2四半期決算説明会資料

2011/10/25

株式会社日立ハイテクノロジーズ

執行役常務 西田 守宏

2012年3月期第2四半期 決算説明会

I 2012年3月期第2四半期累計期間 決算概要

II 2012年3月期 業績予想

III 参考:データ集

I

2012年3月期第2四半期累計期間 決算概要

(注)YY/MはYYM月期を表しています。
(e)は、前回予想(2011年7月公表値)

2012年3月期第2四半期累計期間(ハイライト)

(億円)

	当期実績	前年同期比		前回予想比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	3,216	△137	△4%	+116	+4%
営業利益	123	△15	△11%	+43	+53%
経常利益	125	△18	△13%	+45	+56%
当期利益	79	△19	△19%	+29	+58%
一株利益	57円38銭	△13円73銭		+21円03銭	
一株配当*	20円00銭	+10円00銭		+10円00銭	
FCF	+99	+13		△5	

*一株配当には、日立ハイテク創立10周年記念配当金10円を含む

(注)前回予想(2011年7月公表値)

2012年3月期第2四半期累計期間(偏差説明)

対前回予想値(2011年7月1Q決算発表時)比較

売上高 (3,100億円 → 3,216億円 +116億円)

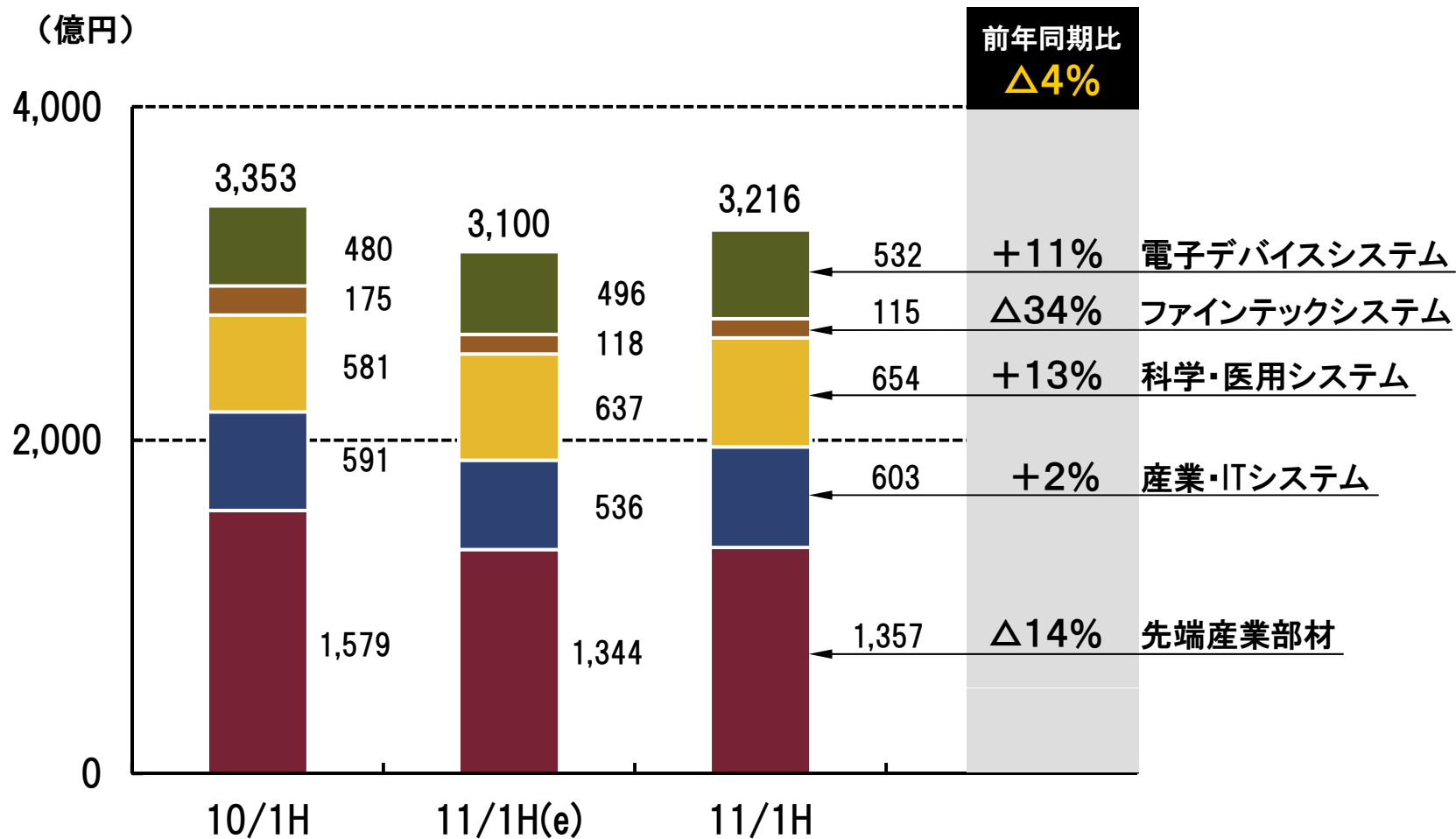
- 電子デバイスシステム: 欧米市場向けプロセス装置・評価装置の好調等により36億円増加
- 科学・医用システム: 新製品投入によるDNAシーケンサの出荷増等により18億円増加
- 産業・ITシステム: 新製品投入による米国市場向け携帯電話の出荷増等により66億円増加
- 先端産業部材: 東日本大震災からの復興による自動車部品の出荷増等により13億円増加

営業利益 (80億円 → 123億円 +43億円)

- 電子デバイスシステム: 上記と概ね同様の理由により11億円増加
- 科学・医用システム: 上記理由に加え、東日本大震災後の那珂地区の操業度改善等により29億円増加

2012年3月期第2四半期累計期間(売上高)

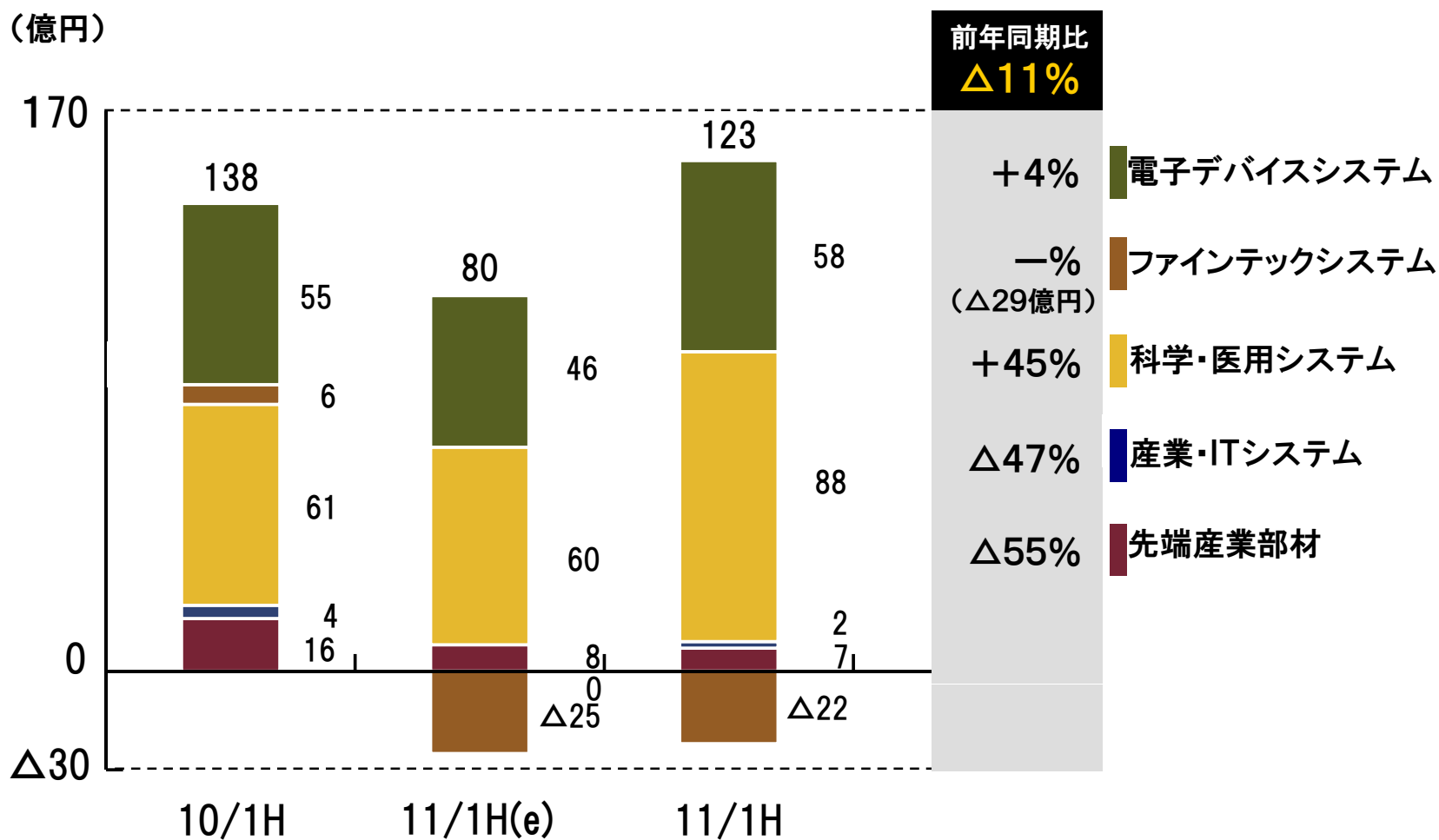
売上高



(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

2012年3月期第2四半期累計期間(営業利益)

営業利益



(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

Ⅱ

2012年3月期 業績予想概要

(注)YY/MはYYM月期を表しています。

(e)は、前回予想(2011年7月公表値)

(e1)は、今回予想(2011年10月公表値)

2012年3月期業績予想(ハイライト)

(億円)

	当年度予想	前年同期比		前回予想比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	6,500	△34	△1%	△300	△4%
営業利益	280	+1	+0%	±0	±0%
経常利益	280	△15	△5%	±0	±0%
当期利益	180	+2	+1%	±0	±0%
一株利益	130円87銭	1円80銭		±00円00銭	
一株配当*	30円00銭	+10円00銭		+10円00銭	
ROE	7.2%	△0.3%		±0%	
FIV	+44	△15		±0	
FCF	+150	△71		±0	

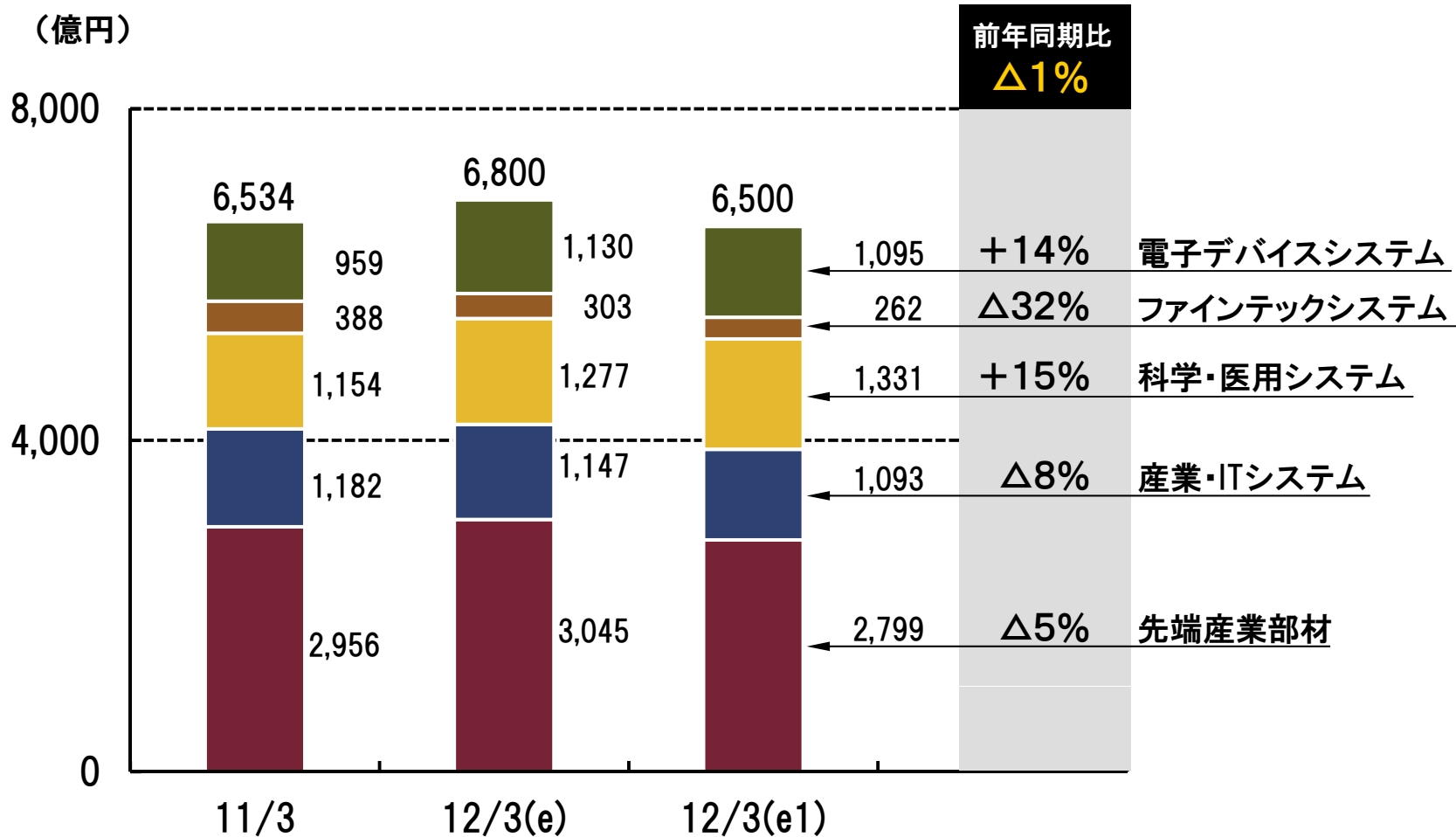
*一株配当には、日立ハイテク創立10周年記念配当金10円を含む

(注)前回予想(2011年6月公表値)

想定レート: 1USD=80円、1EUR=110円

2012年3月期業績予想(売上高)

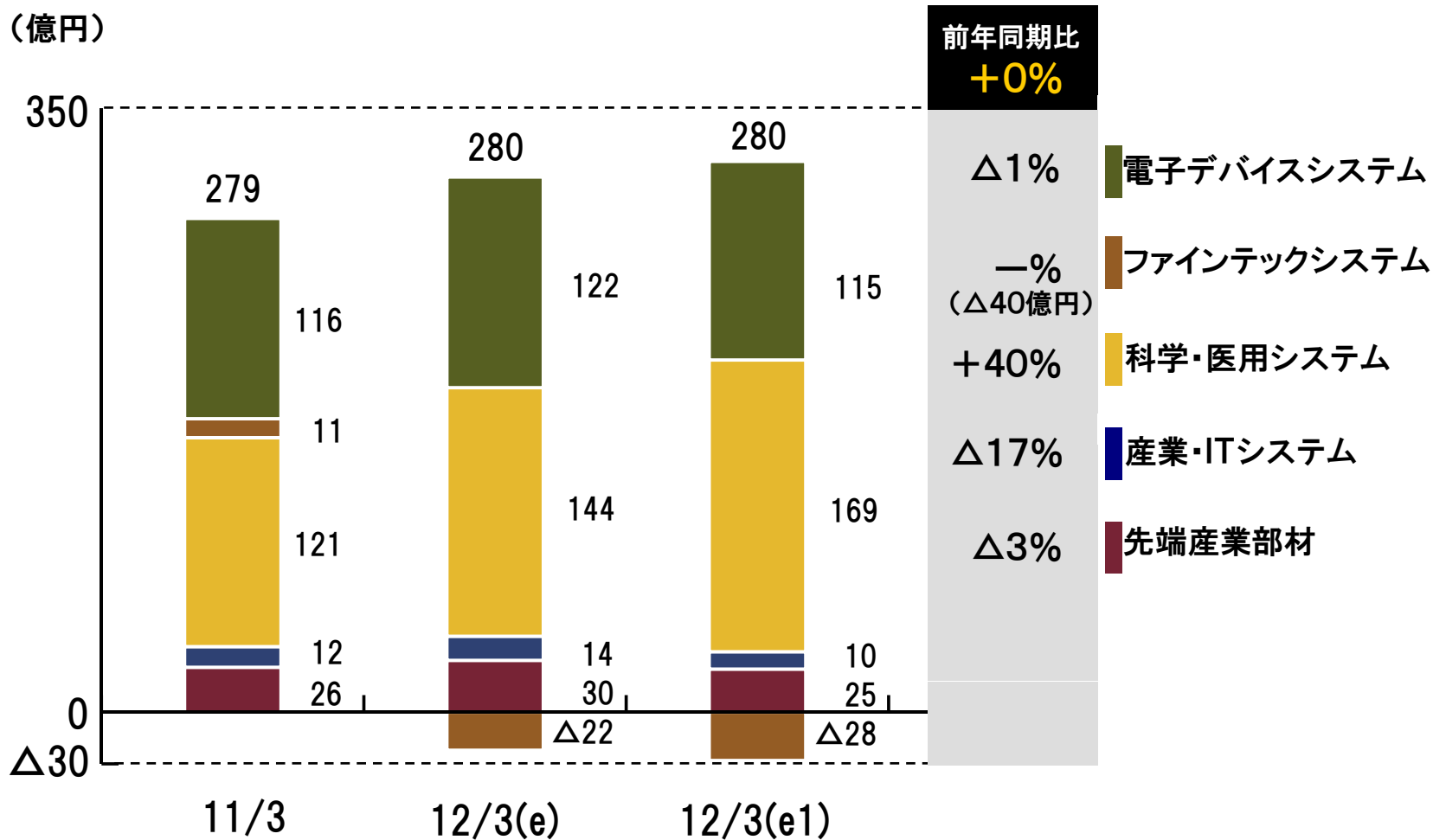
売上高



(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

2012年3月期業績予想(営業利益)

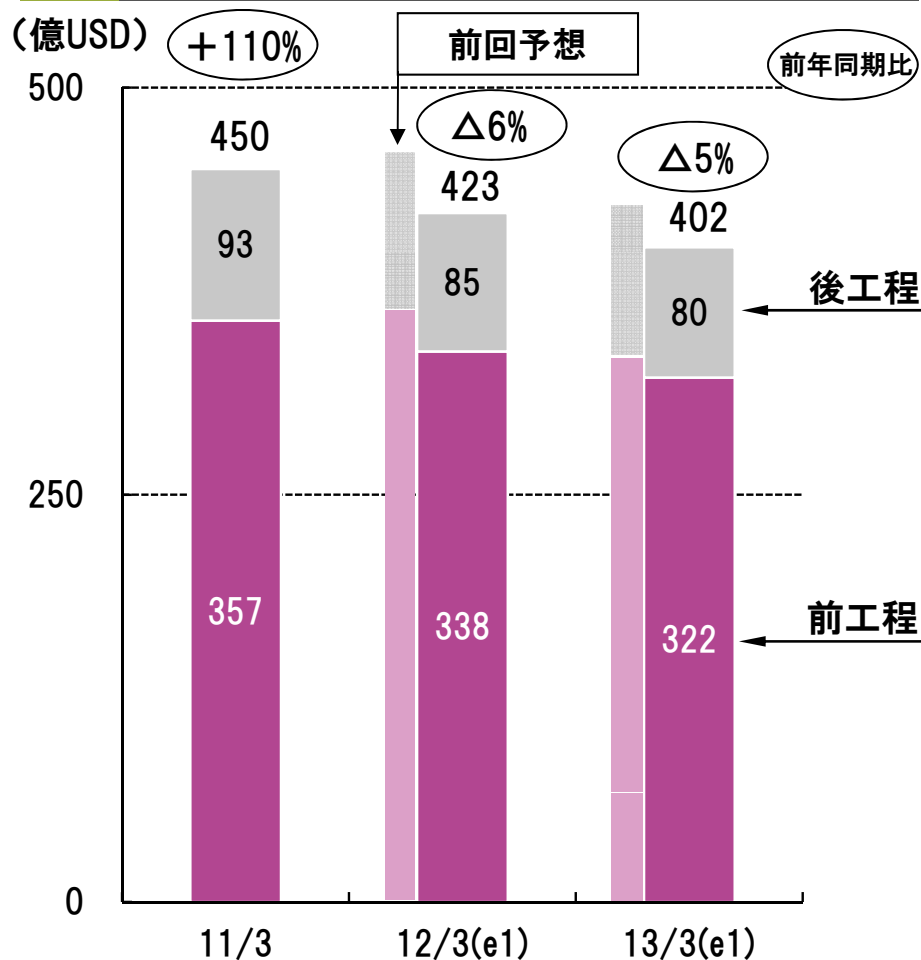
営業利益



(注)合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれております。

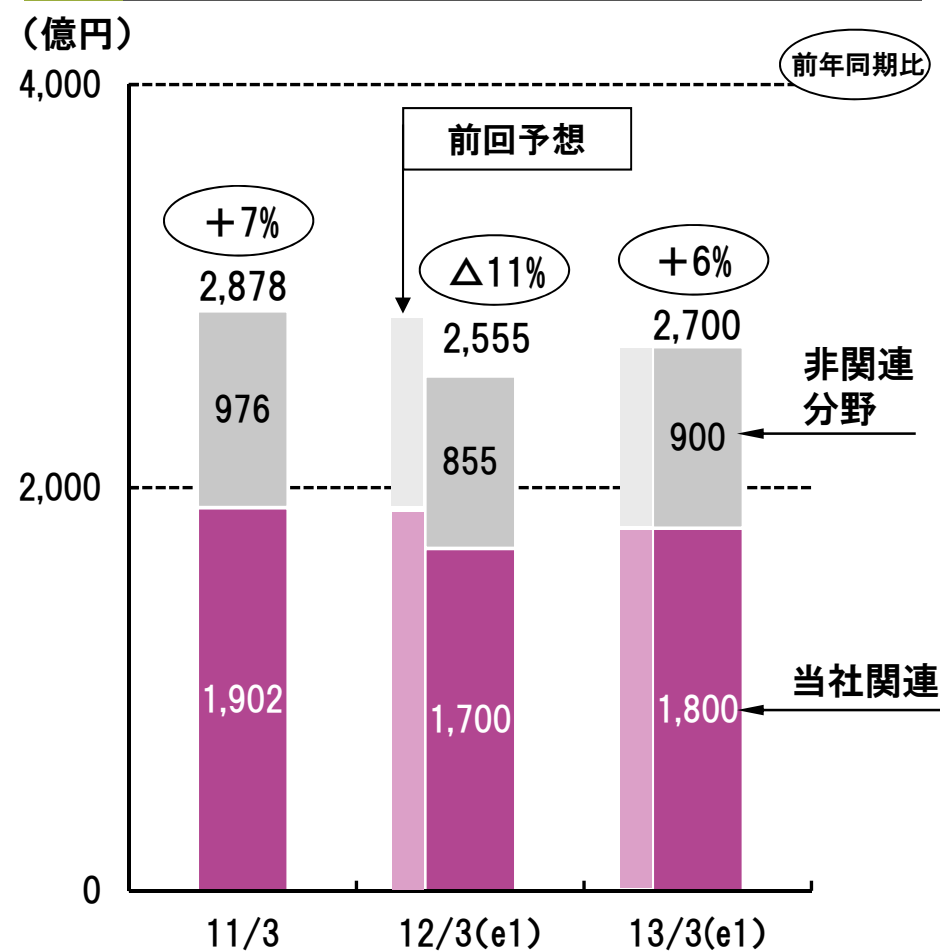
2012年3月期業績予想(電子デバイスシステム)①

半導体製造装置市場



(出所)Gartner(11年9月)に基づき当社作成
 前回予想は11年6月の業績予想発表時の見通し

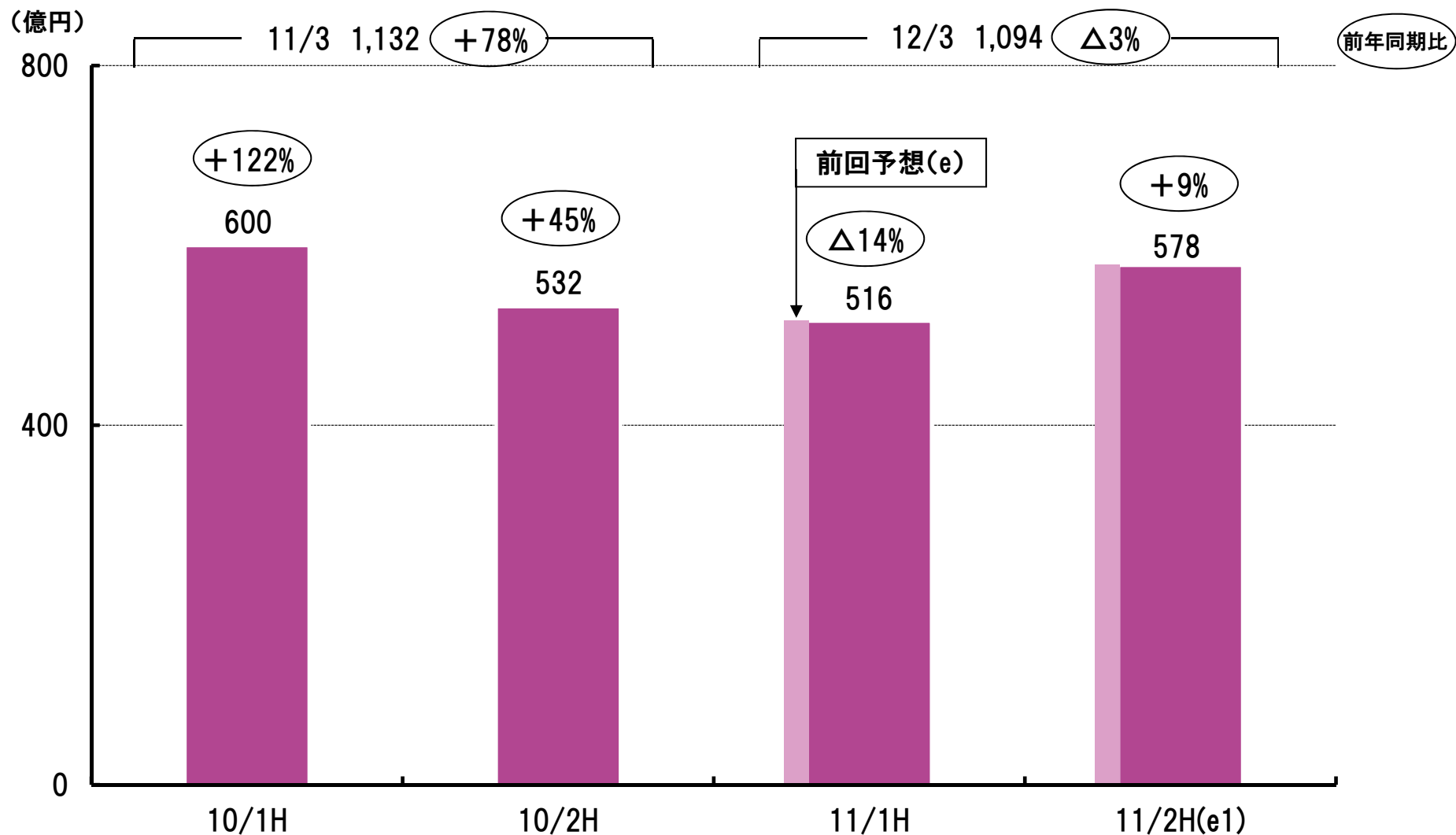
実装装置市場



(出所)日本ロボット工業会資料(11年6月)調査機関資料に基づき当社作成
 前回予想は11年6月の業績予想発表時の見通し

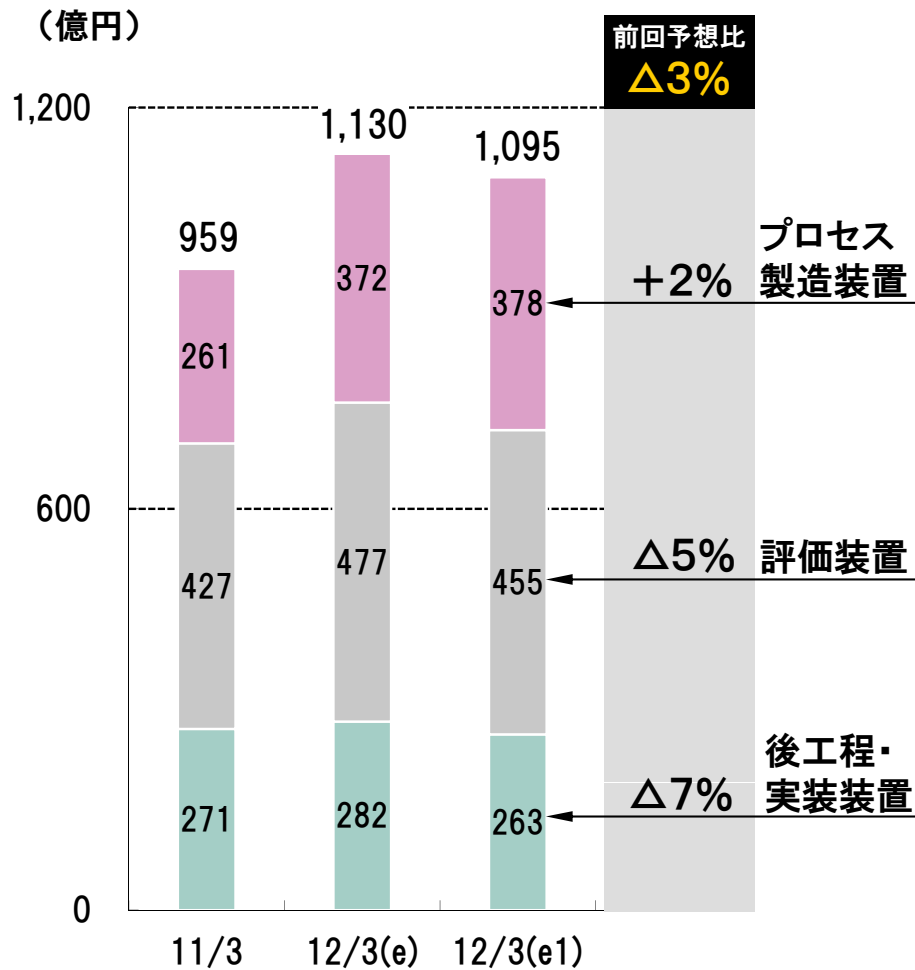
2012年3月期業績予想(電子デバイスシステム)②

受注高の推移

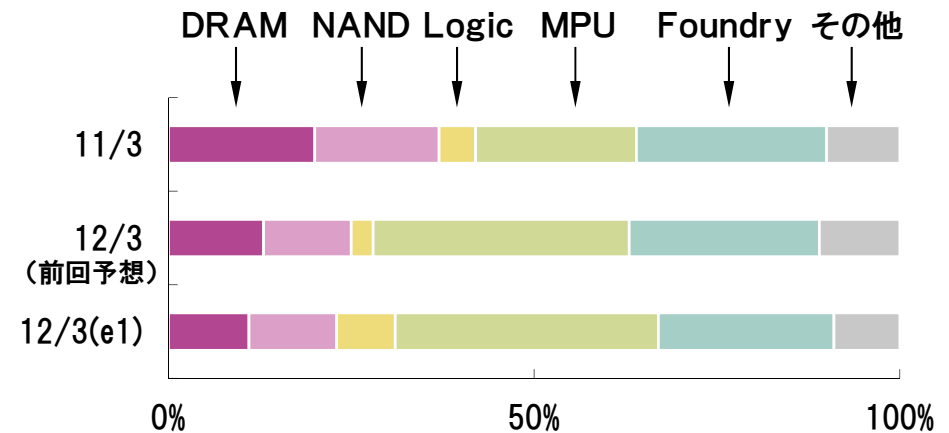


2012年3月期業績予想(電子デバイスシステム)③

主要製品群別売上高の推移



前工程装置 分野別売上高比率



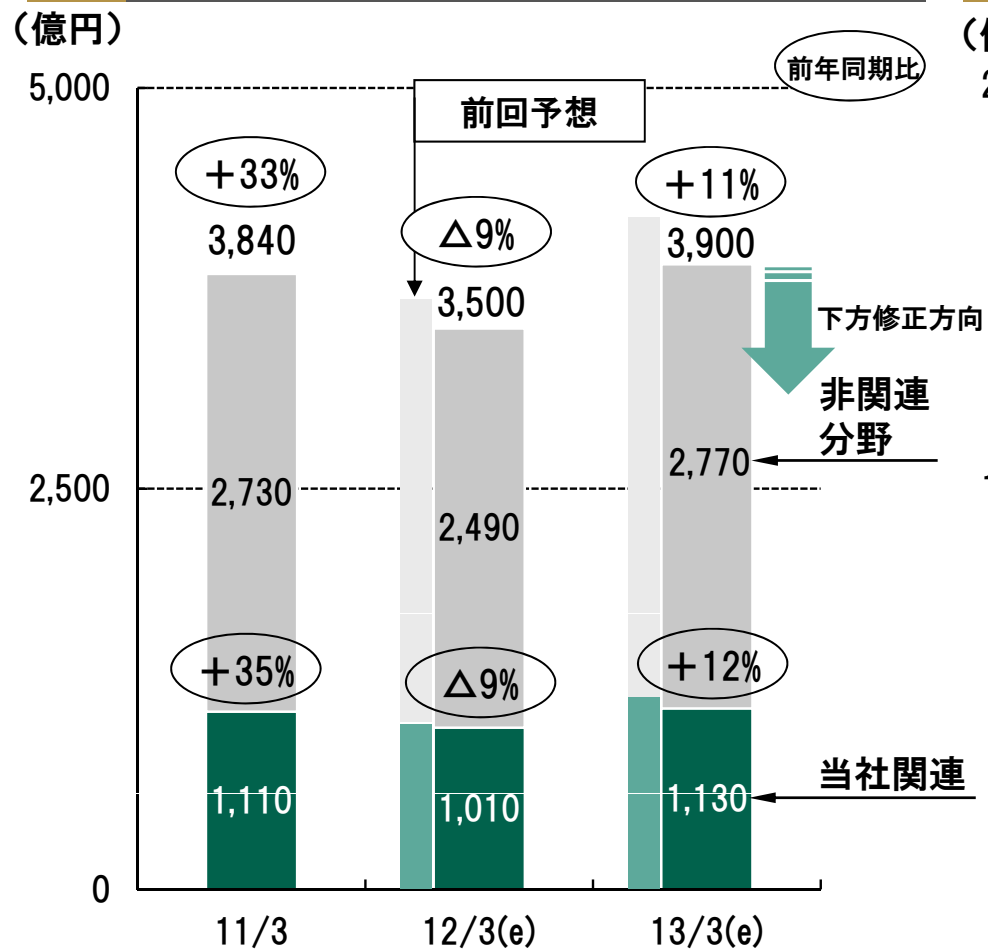
*前回予想は11年6月の業績予想発表時の見通し

10年度: 前半はメモリー関連で大型投資あり。
ファウンドリでも大型投資が継続

11年度: MPUは積極的投資により堅調に推移、
DRAM関連は、投資抑制

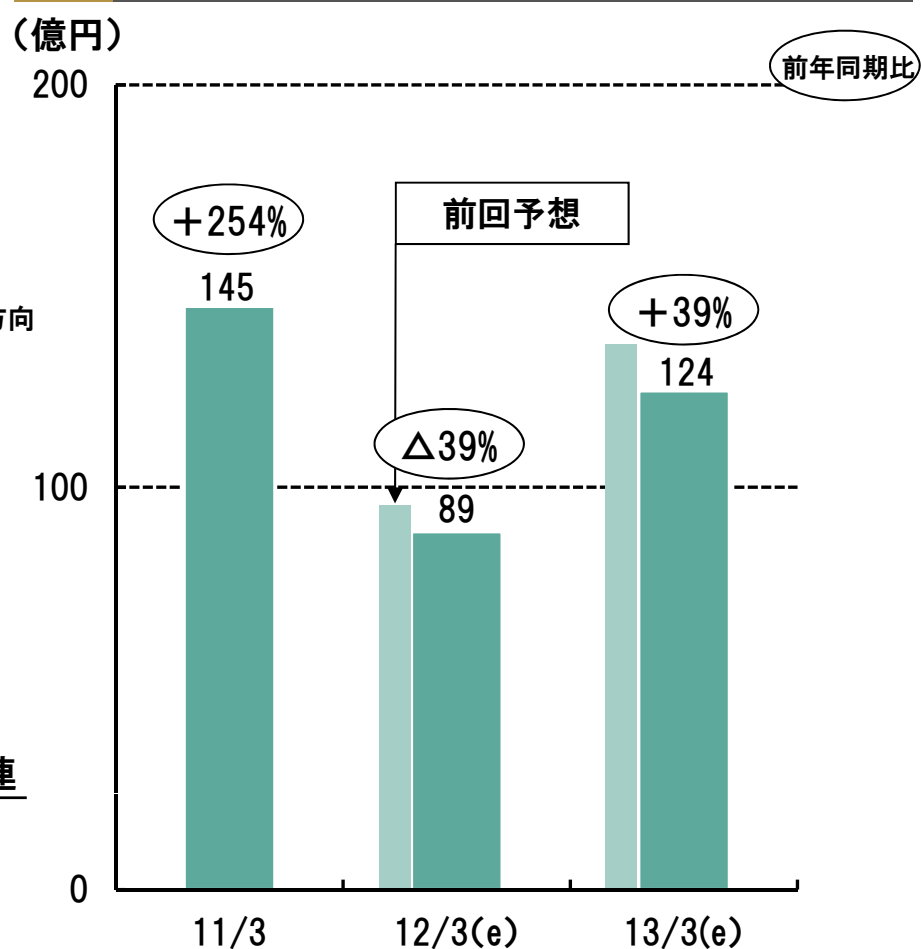
2012年3月期業績予想(ファインテックシステム)①

液晶関連製造装置市場



(出所)SEAJ(11年7月)日本製装置市場データに基づき当社作成
 前回予想は11年6月の業績予想発表時の見通し

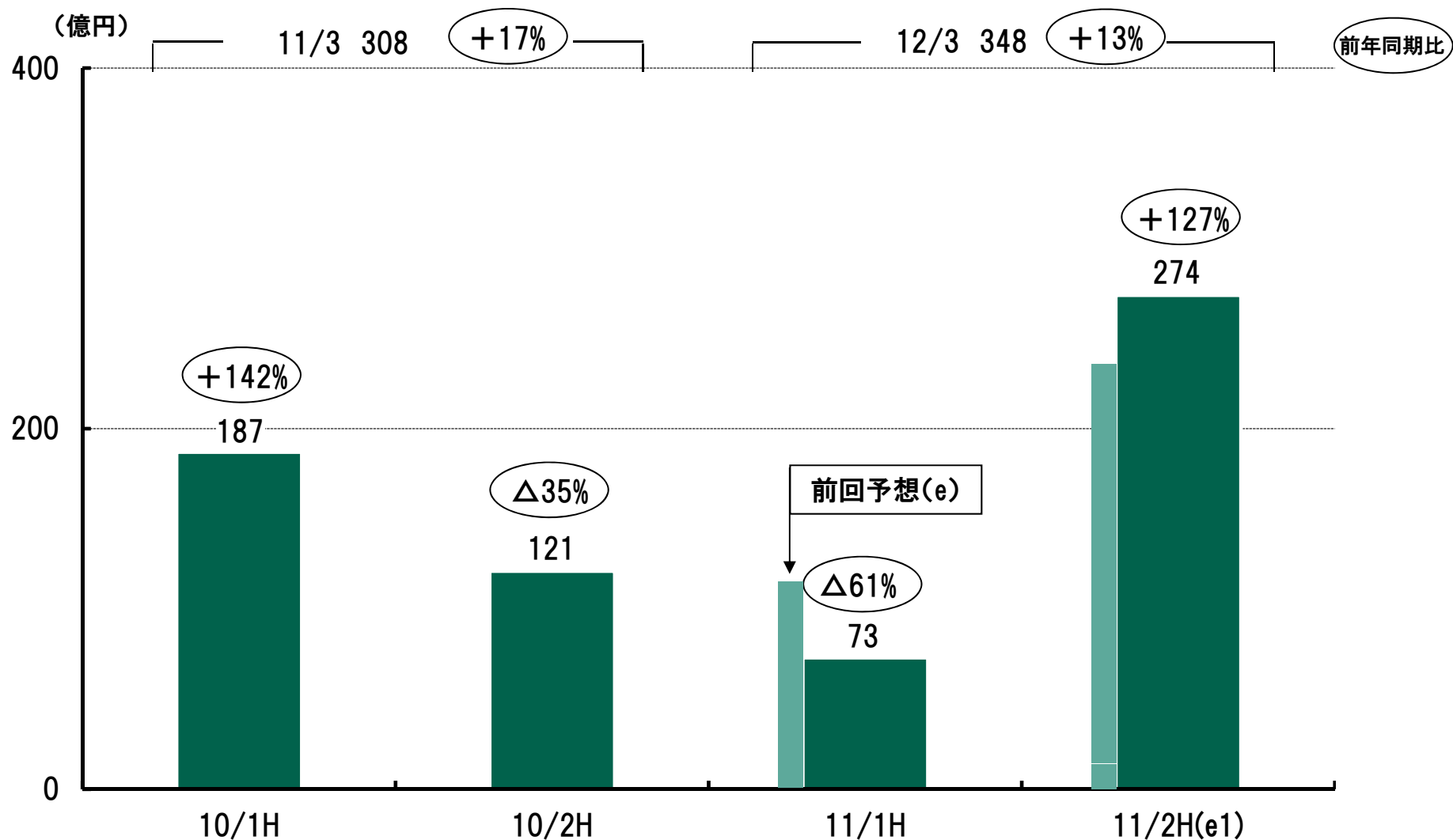
HD関連製造装置市場(当社関連)



(出所)当社作成
 前回予想は11年6月の業績予想発表時の見通し

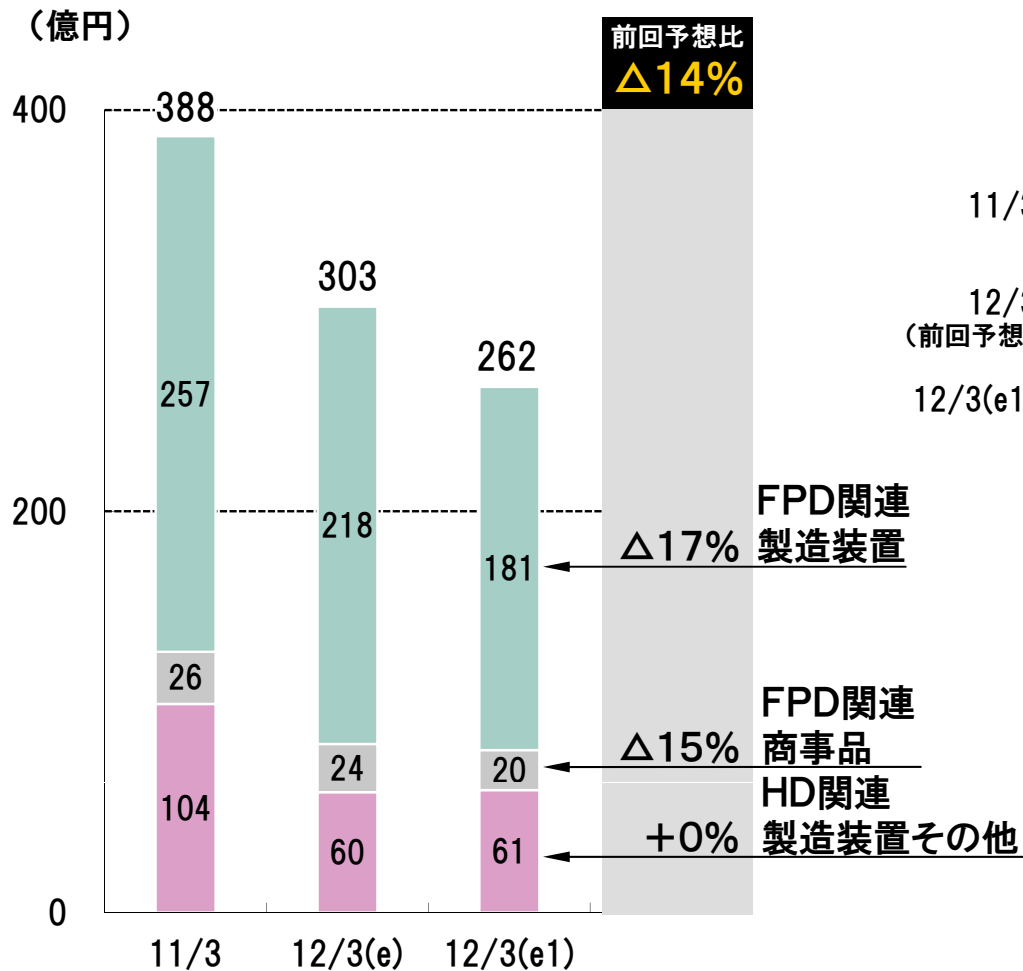
2012年3月期業績予想(ファインテックシステム)②

受注高の推移

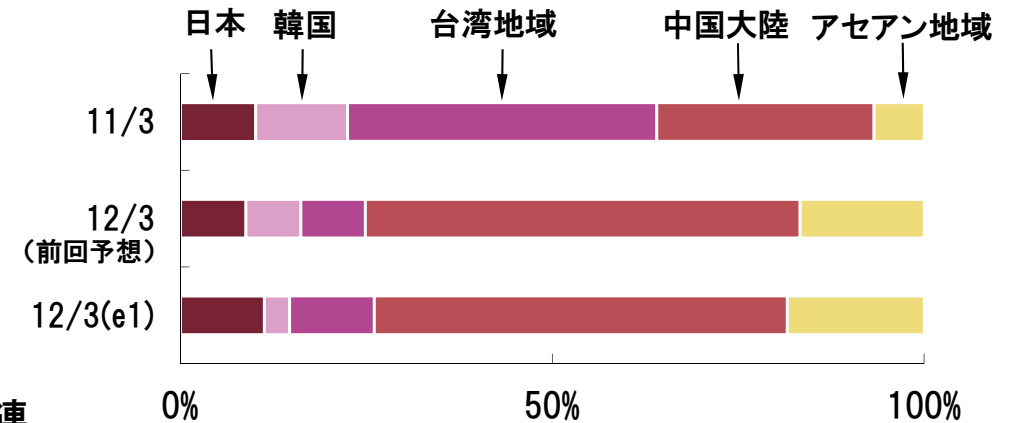


2012年3月期業績予想(ファインテックシステム)③

主要製品群別売上高の推移



地域別売上高比率



*前回予想は11年6月の業績予想発表時の見通し

10年度:液晶関連はパネル価格低迷により投資意欲は減退するも、韓国・台湾の投資は継続

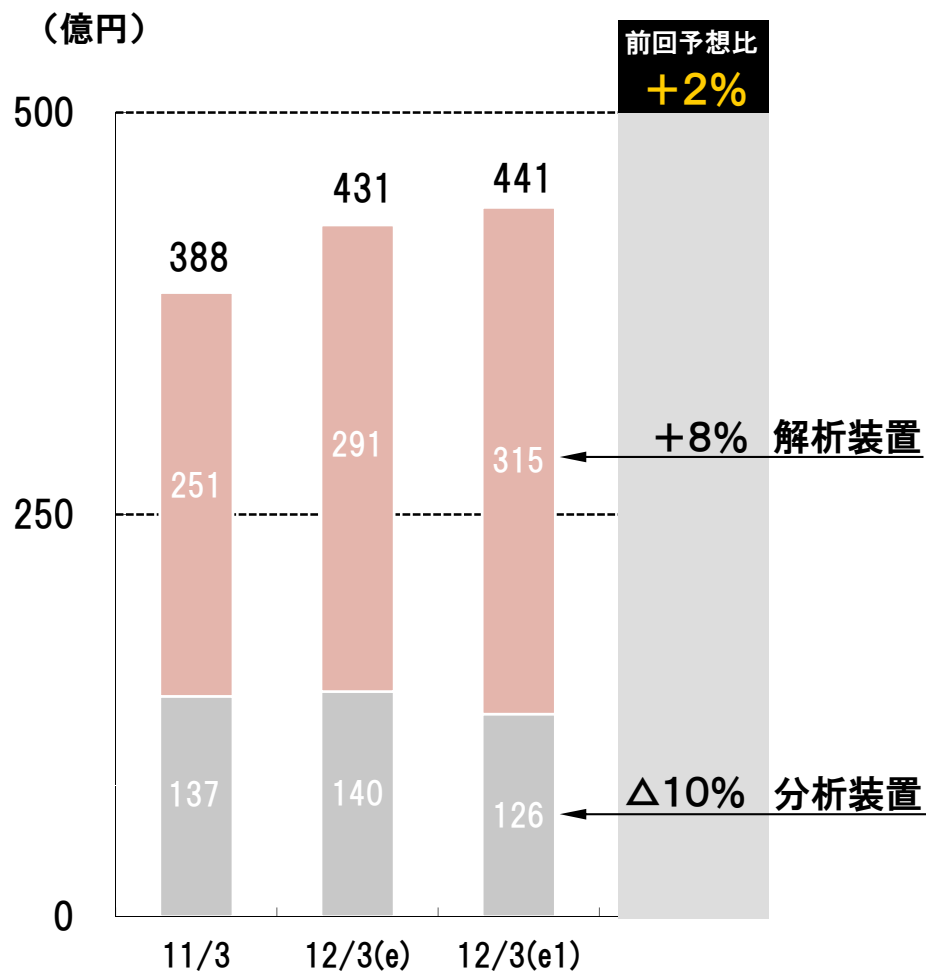
HD関連は先進国が低調なるも新興国需要は好調

11年度:液晶関連の投資の中心は中国大陸へシフト

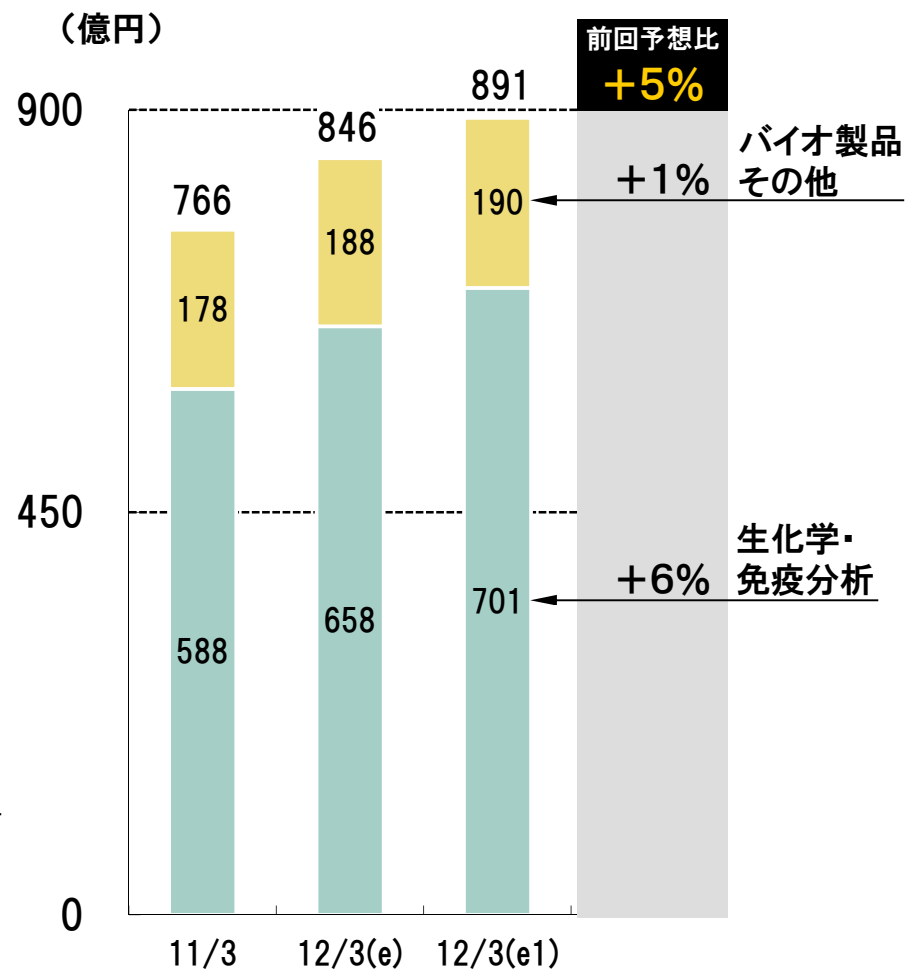
HD関連はアセアン地域が増加

2012年3月期業績予想(科学・医用システム)

科学関連事業 売上高の推移

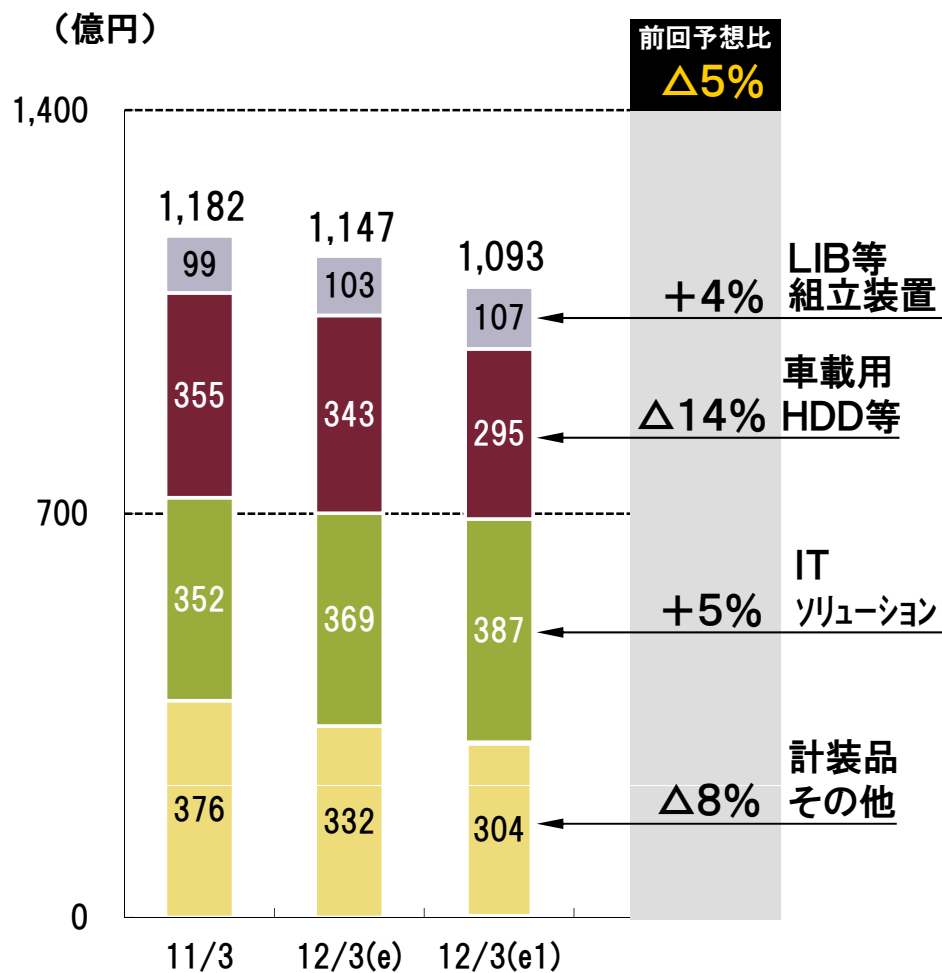


バイオ・メディカル事業 売上高の推移

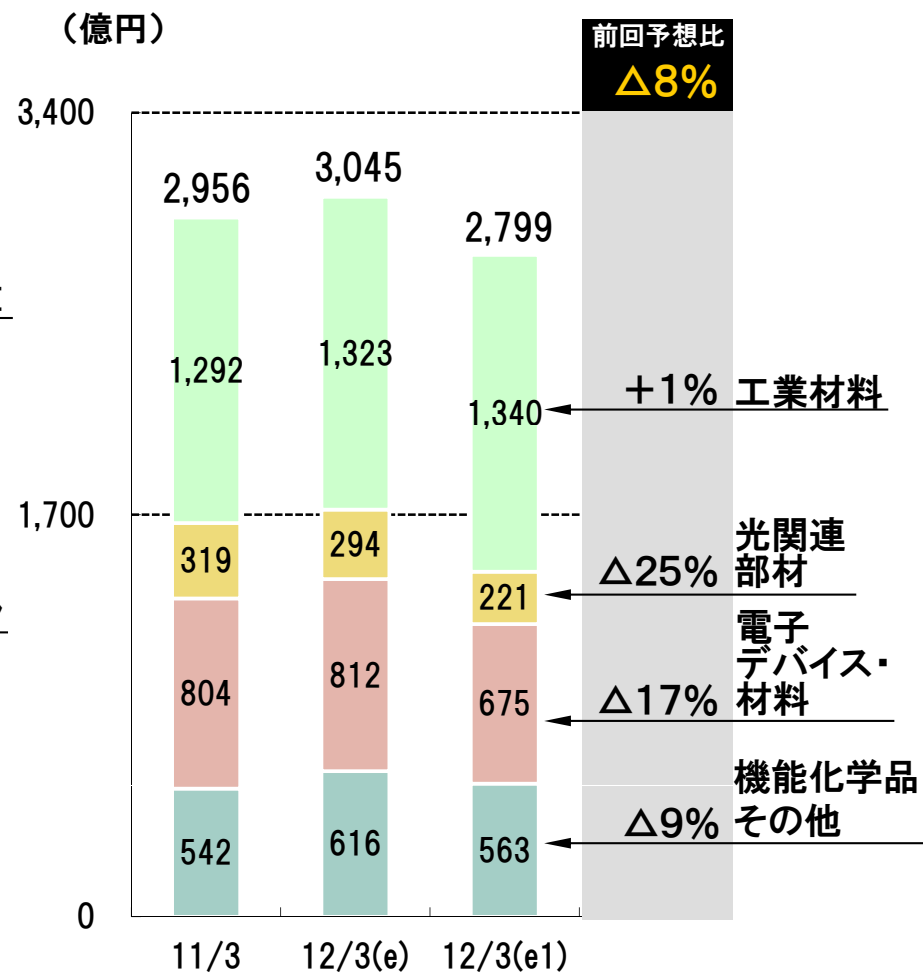


2012年3月期業績予想(産業・ITシステム/先端産業部材)

産業・ITシステム 売上高の推移



先端産業部材 売上高の推移



Ⅲ

参考:データ集

四半期業績の推移

(億円)

		10年1Q	10年2Q	10年3Q	10年4Q	11年1Q	11年2Q		
売上高 ／ 営業利益	電子デバイスシステム	売上高	169	311	193	286	231	301	
		営業利益	7	48	20	41	24	33	
	ファインテックシステム	売上高	67	108	125	88	36	79	
		営業利益	△1	7	8	△3	△13	△10	
	科学・医用システム	売上高	275	306	262	311	254	401	
		営業利益	30	31	24	36	21	67	
	産業・ITシステム	売上高	296	295	262	329	301	302	
		営業利益	△3	7	△1	9	△2	4	
	先端産業部材	売上高	802	777	712	666	656	702	
		営業利益	11	5	8	2	4	3	
	その他・調整額	売上高	△24	△29	△26	△26	△25	△21	
		営業利益	△1	△4	△3	△1	△3	△7	
	合計		売上高	1,585	1,768	1,527	1,655	1,452	1,763
			営業利益	43	95	57	85	32	91
経常利益			50	93	58	94	36	89	
当期利益			35	63	35	44	20	59	

設備投資額・減価償却費・研究開発費/地域別売上高

■設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

	10/1H	11/1H	前年 同期比	11/3	12/3 (e1)	前年 同期比
設備投資額	40	55	+38%	90	185	+106%
減価償却費	41	42	+3%	90	102	+14%
研究開発費	103	114	+10%	208	253	+22%

(注)設備投資額は取得ベースにて記載

■地域別売上高

(億円)

		日本	北米	欧州	アジア	中国大陸	その他	計
10/1H	売上高	1,475	295	356	1,172	517	55	3,353
	構成比率	44.0%	8.8%	10.6%	34.9%	15.4%	1.6%	100.0%
11/1H	売上高	1,330	408	406	979	513	93	3,216
	構成比率	41.4%	12.7%	12.6%	30.4%	16.0%	2.9%	100.0%

主要製品群別売上高の状況

(億円)	10年1Q	10年2Q	10年3Q	10年4Q	11年1Q	11年2Q
電子デバイスシステム	169	311	193	286	231	301
プロセス製造装置	32	77	60	91	92	101
評価装置	79	125	82	142	87	127
後工程・実装装置	58	109	51	53	52	72
ファインテックシステム	67	108	125	88	36	79
FPD関連製造装置	56	78	103	47	30	66
HD関連製造装置その他	11	30	22	41	6	13
科学・医用システム	275	306	262	311	254	401
分析装置	27	44	31	35	29	38
解析装置	36	79	47	89	55	88
生化学・免疫分析	162	139	146	141	108	206
バイオ製品その他	49	44	38	46	61	67
産業・ITシステム	296	295	262	329	301	302
LIB等組立装置	35	21	12	32	13	25
車載用HDD等	75	82	96	103	87	66
ITソリューション	103	99	66	84	126	130
計装品その他	83	93	88	110	75	80
先端産業部材	802	777	712	666	655	702
工業材料	336	339	310	307	318	328
光関連部材	99	81	71	68	56	57
電子デバイス・材料	238	219	192	155	133	171
機能化学品その他	129	138	138	136	148	145

<資料取り扱い上の注意>

- ・本プレゼンテーションで述べられている決算概要及び業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結であり、億円未満を四捨五入しています。
- ・当社が開示する将来の業績見通しや戦略等に関する予想は、開示時点で知りうる情報や合理的と思われる前提をもとに策定しており、さまざまな外部要因による直接的・間接的な影響により、実際の当社の業績等が開示内容と異なる可能性があります。但し、開示内容との間に大きな乖離がある場合は、法令や証券取引所が定める適時開示規則並びに当社の自主的な判断に基づき、その都度開示していきます。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

END

2012年3月期第2四半期決算説明会資料

お問合せ先
CSR本部 コーポレート・コミュニケーション部
部長 加藤 弘之
TEL:03-3504-5138 FAX:03-3504-5943
E-mail:kato-hiroyuki@nst.hitachi-hitec.com

日立ハイテック

最先端を、最前線へ。